

いわき石川線才鉢工区（事業中）の新設されるトンネル 及び橋梁の正式名称の決定について

平成31年1月29日

いわき建設事務所

【概要】

いわき石川線は県内の東西物流等における重要路線として、道路ネットワークの強化が望まれています。才鉢地区は山間部に位置し、近年、豪雨、地震により3度の土砂崩落による長期間の通行止めを経験しています。

これらを解消すべく道路改良事業として、災害要因を避けた新ルート（バイパス）にトンネル1箇所、橋梁7箇所が計画され、現在、事業を進めています。

トンネル及び橋梁の名称については、計画時点から現時点まで仮称としていましたが、事業が進んだことにより、今回、以下のとおり正式名称を決定しました。

【決定名称】

正式名称の決定にあたり、才鉢・神山地区の皆様からご意見をいただいたところ、「昔からの呼び名」を後世に残したいとの思いから、各構造物の設置位置の「昔からの呼び名」を主とすることとしました。

（ 仮 称 ）	→	（ 正 式 名 称 ）
才鉢トンネル	→	才鉢トンネル（さいばちとんねる）
才鉢1号橋	→	労場橋（ろうばはし）
才鉢2号橋	→	弓ながし橋（ゆみながしはし）
才鉢3号橋	→	才鉢橋（さいばちはし）
才鉢4号橋	→	札上沢橋（さつかみさわはし）
才鉢5号橋	→	古畑橋（ふるはたはし）
才鉢6号橋	→	長畑橋（ながはたはし）
才鉢7号橋	→	神山橋（かみやまはし）

【位置図】



※構造物名称の決定にあたり、ご協力いただいた地域の皆様に対しまして、厚く御礼申し上げます。

【 以 上 】